

埼玉県職員募集広報動画「獣医師職に密着してみた。」テキスト版 ※ 所属は令和6年3月現在

【冒頭ダイジェスト】0分0秒から0分14秒

熊谷家畜保健衛生所 木下技師

○ ちょっと誇らしいような気持ちになりますね。

熊谷家畜保健衛生所 土門担当部長

◇ やはり木下さんのようにやれる人材が一番。

熊谷家畜保健衛生所 窪田所長

☆ 最終的にはもちろん、農家さんだけではなくて。

【自己紹介】0分15秒から0分18秒

熊谷家畜保健衛生所 木下技師

○ 熊谷家畜保健衛生所 木下 眞大樹です。

【入庁したきっかけは？】0分19秒から1分13秒

熊谷家畜保健衛生所 木下技師

○ 獣医師の就職先っていうと、動物病院のイメージがあって、公務員獣医師の仕事ってあまり知られていないと思うんですよね。自分も学生の時は、公務員獣医師の仕事っていまいちピンときていなくて、でも大学の時に埼玉県の中央家畜保健衛生所に実習に行ったんですよ。その時に、そこで職員の方と一緒に農家さんを回って、牛とか鶏の採血を見せてもらったり、農家さんと一緒にお話しさせてもらったりっていうのを経験して、「ああこういう仕事があるんだな」っていうのを知りました。

獣医の仕事って、犬とか猫とか、ペットを飼っている人のための仕事っていうイメージだったんですけど、牛とか豚みたいな畜産動物を通して、ペットを飼っている人だけじゃなくて、全ての人の役に立つ仕事ができるという公務員獣医師の仕事に魅力を感じて、この仕事を選びました。

【埼玉県を志望した理由は？】1分14秒から1分29秒

熊谷家畜保健衛生所 木下技師

- 埼玉を選んだ理由ですけど、公務員として働くって考えた時に、「やっぱり地元の埼玉で」っていう気持ちはもちろん大きかったですし、大学時代に東京に住んでいたのも、あまり都心から離れずに適度な距離で生活できるっていうのも魅力でしたね。

【業務内容について】1分30秒から2分14秒

熊谷家畜保健衛生所 木下技師

- 畜産動物を扱う獣医としては、診療獣医師っていう仕事もあるんですけど、自分たち家畜保健衛生所の仕事は、動物の病気を治すことではなくて、病気を発生させないっていうことに焦点を当てています。牛 豚 鶏といった畜産動物の病気の予防と対策、そのための検査を行うことが主な業務で、具体的には、県内の畜産農家さんにこちらから出向いて、検査用の採血を行ったり、ワクチンを接種したりしています。
あとは農家さんから病気のこととか、衛生対策のことの相談があれば、それに対応したり、病気で弱ってしまったり、死んでしまった畜産動物の原因究明のための検査を行ったりしています。

【自己紹介】2分15秒から2分19秒

熊谷家畜保健衛生所 土門担当部長

- ◇ 熊谷家畜保健衛生所家畜防疫担当部長の土門です。

【木下さんの印象について】 2分 20 秒から 2分 34 秒

熊谷家畜保健衛生所 土門担当部長

◇ 彼は常に明るくてですね。所内のムードメーカー的な存在ですし、コミュニケーション能力も高いので、農家さんを含め、我々の信頼も勝ち取っているような人物です。

【自己紹介】 2分 35 秒から 2分 39 秒

熊谷家畜保健衛生所 窪田所長

☆ 埼玉県熊谷家畜保健衛生所 所長の窪田です。

【木下さんの印象について】 2分 40 秒から 3分 9 秒

熊谷家畜保健衛生所 窪田所長

☆ 明るくて、積極的で、担当のムードメーカーって言うんですか、そういった存在かと思います。ITに強いので、IT推進員として行政改革の中で、システムが変わるんですけども、それに先頭に立って職場の職員をレクチャーしながら、今年度もいろいろと音頭をとってやっていただきました。

【働く環境について】 3分 10 秒から 3分 46 秒

熊谷家畜保健衛生所 木下技師

○ 公務員って結構お堅いイメージがあると思うんですけど、うちの職場は全然そんな感じじゃなくて、職員のほとんどが獣医だっていうのもあると思うんですけど、仕事の話も、仕事以外の話もしやすく、すごく良い環境で働かせてもらっています。

あとはやっぱり公務員っていうのもあって、仕事とプライベートの両立はしやすい環境かなって思っています。男性でも育休を取っている先輩はたくさんいますし、あとは、急な異動もないし、異動先も埼玉県内で収まっているので、そういう意味でも自分の人生設計が立てやすいっていうのはあるのかなって思っています。

【マネジメントで意識していることは？】3分47秒から4分24秒

熊谷家畜保健衛生所 土門担当部長

◇ 木下くんはですね、自ら考えて積極的に動くタイプなので、特段これをやれ あれをやれ というようなことは言わずにですね、一応仕事を進める上で、進みの状況ですとか、ハウレンソウですね。よくいう報告、連絡、相談っていうのを、こまめにやってもらうようお願いはしています。私としてもですね、困った時とか、そういった際に相談しやすいような体制を整えるように心掛けています。

【マネジメントで意識していることは？】4分25秒から5分32秒

熊谷家畜保健衛生所 窪田所長

☆ まずはみなさんの自主性に任せたいというところはあるんですけど、いろいろな仕事をしていただいたことに対して、感謝の気持ちを必ず持ちながらやりたいなと思っています。もちろんマネジメントをしなくてははいけませんので、個々の長所を特に引き出してあげられるようなことで、日々いろいろと気を付けながら、職場の個々の力を引き出しながら、それぞれ得意な分野がありますので、得意分野を伸ばしながら、職場の総合力を高めていけたらいいなと思っています。

今どうしてもメンタル面で、鳥インフルエンザなどの発生もありまして、非常に何て言うんですかね、日々常に気にしていなくちゃならないっていう、すごくストレスがかかるような状態ですので、みんなでいろいろとやっていくんだっていう非常に明るい職場ですので、普段はそういった環境を保てるような形でマネジメントをしたいなというふうに考えています。

【獣医師職の魅力について】5分33秒から6分51秒

熊谷家畜保健衛生所 木下技師

○ 一番の魅力は、やっぱりいろんな種類の動物を扱うことができることだと思います。メインは牛 豚 鶏なんですけど、それだけじゃなくて、羊やヤギの農場に検査に行ったり、馬を飼っている牧場に立ち入りしたり、それから春には、ミツバチの検査なんかもするんですよね。それから、いろんな業務を経験できるっていうのもあって、自分も今働いている家

畜保健衛生所に異動してくる前は、食肉衛生検査センターっていう課所で、お肉の検査業務をやっていたんですけど、そうやって一つの就職先で違った仕事を経験できるっていう魅力もあると思います。

研修の機会が多いっていうのも魅力ですね。畜産動物の病気とか、衛生対策みたいな専門的な知識を学べる研修があって、普段の仕事をしながらだと、しっかり勉強するってなかなか難しいんですけど、研修だと1週間くらいじっくり勉強できるのですごくありがたいですね。

この研修って全国から職員が参加するので、他県の職員同士で交流したり、情報交換もできたりして、かなり有意義だと思います。それと、県内のいろんなところに出張できるっていうのも魅力の一つだと思います。出張へ行った日のお昼なんかは、各地で結構いろいろ美味しいものを食べています。

【やりがいを感じるタイミングについて】6分52秒から7分20秒

熊谷家畜保健衛生所 木下技師

- 自分たちの仕事って病気の治療じゃなくて、予防がメインなので、なかなか結果が形として見えるってことは少ないんですけど、それでも自分たちが普段関わっている農家さんのお肉とか、卵がスーパーなんかで売っているのを見ると、ああこれ自分がワクチンを打った豚のお肉だとか、普段検査している子たち（鶏）の卵だとか思って、自分が食の安全に関わっているっていうのを実感できて、ちょっと誇らしいような気持ちになりますね。

【意識・心掛けていることは？】7分21秒から7分58秒

熊谷家畜保健衛生所 木下技師

- 自分たちの仕事は、農家さんと直接接する機会が多いんですよ。だから、農家さんとのコミュニケーションっていうのはすごく大事にしています。やっぱり、農家さんと信頼関係をしっかり築くってことで、検査とか、立ち入りとか、いろいろとスムーズに行われているかなって思っています。

埼玉県では、県を挙げて業務のデジタル化に取り組んでいて、家畜保健衛生所でも業務の見直しをいろいろと行っています。ただ、やっぱり新しいものだと、なかなか受け入れにくいっていう声もあるんですけど、そこは若い目線でいろいろ

ろと取り入れて業務の改善につなげられたらと思っています。

【どんな人材になってほしい？】7分59秒から8分17秒

熊谷家畜保健衛生所 土門担当部長

◇ 持ち前のコミュニケーション能力でしたり、あとムードメーカーっていうところを、このまま伸ばしていただいでですね、みんなの中心・中核的なことを担ってもらえるような職員になってくれればいいなと思っています。

【どんな人材になってほしい？】8分18秒から9分21秒

熊谷家畜保健衛生所 窪田所長

☆ 獣医の職場としては、保健医療部と農林部がメインなんですけど、彼は2課所目ということで、保健医療部も、農林部も経験をしていると、他にも農林部以外の部署は少ないんですけど、環境部であったりとか、出向になりますけど、競馬場の勤務があったりとか、非常に多岐に渡る仕事がありますので、できればせっかく2つ目を経験しているので、いろいろなところを経験してですね、仕事のスキルをアップさせるってということもありますけれども、私も経験してきたんですけど、いろんな課所に知り合いができて、人脈がすごく広がるってということもありますので、彼は非常にコミュニケーション能力がありますので、そういったことをぜひ活用していただいて、広い視野で仕事ができる、最終的にはもちろん、農家さんだけではなくてですね、県民のための仕事をぜひやっていただきたいなと思います。

【どんな人材になっていきたい？】9分22秒から9分50秒

熊谷家畜保健衛生所 木下技師

○ 異動もあるので、今の職場以外にも、どこに異動しても大丈夫なようにっていうのはいつも考えていて、なので今なら農家さんをはじめとして、県民の方とのコミュニケーションという部分をこれからも大事にしていきたいですし、あとはICTスキルもこれからどんどん必要になってくると思うので、そういう能力もしっかり磨いて、オールマイティに活躍できて、県民の方にも一緒に働く仲間にも、信頼してもらえるような職員になればと思っています。

【埼玉県職員を目指す方へ】 9分51秒から10分8秒

熊谷家畜保健衛生所 土門担当部長

◇ 一緒に働く上でなんですけど、能力は人それぞれなのであんまり気にしてはないんですけど、できればみんなと仲良くコミュニケーションを取って、やはり木下さんのように（一緒に）やれるような人材が一番好ましいかなと私は思っています。

【埼玉県職員を目指す方へ】 10分9秒から10分32秒

熊谷家畜保健衛生所 窪田所長

☆ 今の職場でいうと、農家さんと実際に会って、話をして仕事をしていくっていう仕事ですので、木下さんのようにコミュニケーション能力があって、やはりいろんなことを、情報をゲットする、あるいはこちらの言いたいことが伝えられるってというような人がいいのかなと思います。

【埼玉県職員を目指す方へ】 10分33秒から10分57秒

熊谷家畜保健衛生所 木下技師

○ 埼玉県では豚熱の発生があったり、鳥インフルエンザの発生があったりで、今まで以上に公務員獣医師の力が必要とされています。責任を伴う仕事ではありますが、それだけにやりがいも感じられる仕事だと思っています。獣医師としての就職先を探しているみなさん、ぜひ埼玉県で一緒に働きましょう。